



イエリユ・セギョホルム

滞在期間：2007年5月～8月

国籍：スウェーデン

所属：弥栄合気道クラブ

イエリユは所沢道場に2007年5月末から3ヶ月住み込みました。全日本演武大会、孀恋合宿にも参加することができました。

掃除・稽古・食事・睡眠 イエリユ・セギョホルム

これは私の内弟子体験についての感想です。

内弟子期間中、私は掃除すること、稽古すること、食べること、そして寝ることをエンジョイすることができました。それはどうしてでしょうか。

掃除：掃除の行き届いた綺麗な道場はとても居心地のいい所です。自分自身がそこに住んでいるとなるとなおさらです。毎日使うトイレは綺麗であってほしいし、いつも綺麗だと何だか安心します。私自身がトイレを掃除すれば、そこを確実に綺麗にすることができ、そのことを私自身が確実に「知っている」ことができます。道場は訪問者の多い教会やお店のようなところで常に清掃が必要です。放っておくと道場も外の通りもすぐに汚くなってきます。だから、日々掃除を繰り返すのですが、私はそれを精神性を高めるための一種の儀式ととらえています。



稽古：私は素晴らしい稽古が出来る環境を求めて日本に来ました、そして日本でたくさんの素晴らしい稽古に出ることが出来ました。小林道場の専門指導員の方々はもちろん、多くの日本の会員の方々のおかげです。彼らと一緒に稽古したことは決して忘れません。

食事：私はおいしい料理が大好きですが、日本の料理は最高です。日本滞在中、岩手県の一関に行く機会があったのですが、そこで食べた寿司は私が今まで食べたもので最高でした。こんな素晴らしい寿司を食べるチャンスの無い人がかわいそうではありますがありません。

睡眠：色々な状況下で眠るという、私の特殊能力は今回の滞在中、かなり向上しました（日本人でよく見かける、電車の中で立ったまま眠る、というレベルまではまだ到達していませんが...）。人間、毎晩二三時間しか寝ていなければ、どこにいても眠れるようになります。それに、内弟子にとって掃除、稽古、食事以外ですることといったら何でしょうか。睡眠です。日々、体は休息を必要とし、休むことによって疲労回復する重要性を再認識しました。

このように、私は色々なものを見、素晴らしい人々と出会い、楽しい宴会にも参加し、日本滞在を本当に楽しむことができました。

ウルバン・アルデンクリントを初めとする、弥栄道場の内弟子経験者達に感謝します。日本に行く前に彼らから貰ったアドバイスは非常に役に立ちました。おかげで日本の夏を楽しむことができました。

先生方と会員の皆さん、ありがとうございました。

